

ICT活用事例 「UDトーク」



群馬県立聾学校

UDトークとは



UDトークとは

UDトークは、音声認識技術を活用し、会話や音声をリアルタイムで文字化・翻訳するコミュニケーション支援アプリです。

聴覚障害者と健常者、多言語間、世代間などの壁を越え、障害の有無に関わらず誰でも使えるユニバーサルデザイン(UD)を目的としており、幅広いシーンで利用されています。



UDトークとは

3つのコミュニケーションが可能です。

「音声認識+音声合成」

機能で視聴覚障害間コミュニケーション

耳や目の不自由な方とのコミュニケーションをスムーズにすることができます。
入力方法は、音声・キーボード・手書きを状況により使い分けることが可能です。

「多言語音声認識&翻訳」

機能で多言語コミュニケーション

双方向にリアルタイムでの多言語翻訳が可能です。英語はもちろんのこと、約150以上の言語に対応しているので、さまざまな国や地域の方とのスムーズなコミュニケーションを実現します。

「漢字かな変換や手書き」

機能で世代間コミュニケーション

初等教育から中等教育の学習レベルに応じた漢字の使用制限を設定できます。
設定は簡単操作で学年ごとに設定を決められます。

UDトークの活用事例

UDトークの活用事例

「文字情報の提示」



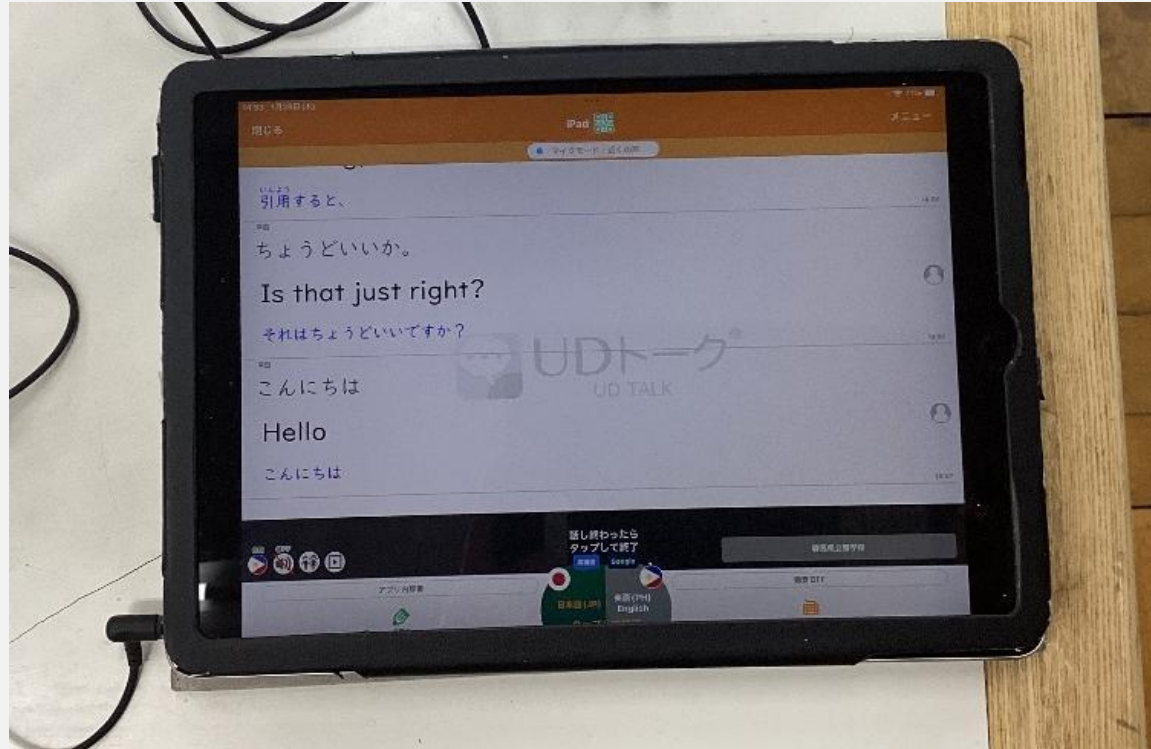
手話通訳とスライド資料のほかにUDトークによる文字情報の提示



他校の生徒との交流

UDトークの活用事例

「翻訳機能の活用」



日本語で話した内容をリアルタイムで英語に翻訳



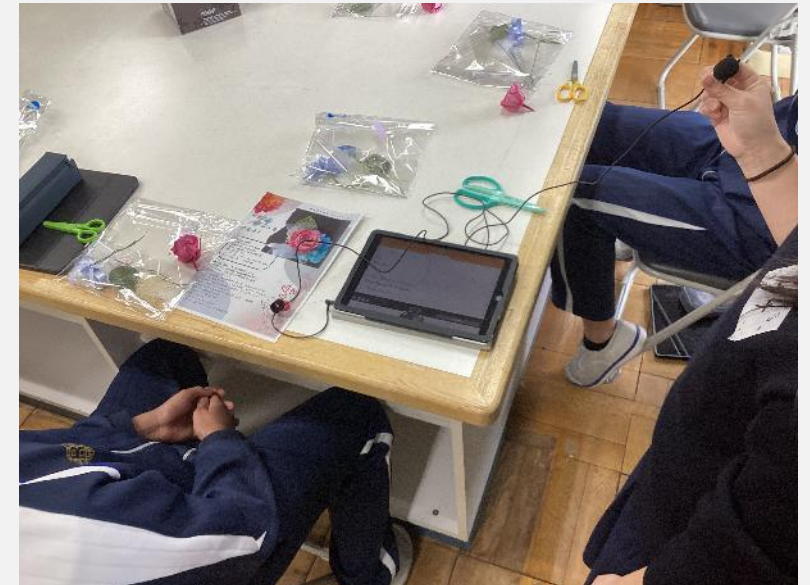
日本語の獲得が不十分な生徒に、英語で文字情報を提示

UDトークの活用事例

「支援機器の整備」

多様な外部マイク(入出力支援装置)の利用

▶ イヤホンジャックマイク
「AmiVoice Front PM01」



マイクを使うことで認識率が向上

UDトークの活用事例

「支援機器の整備」

- ▶ ウェアラブルマイク
「AmiVoice Front WT01」



Bluetoothでタブレットに接続



首掛け式でハンズフリーになるため、
手話表現が可能

UDトークの実践事例

「支援機器の整備」

▶ 卓上マイク
「AmiVoice Front ST01」



少人数での話し合い活動の際、360°
からの声を認識

▶ マイク用ハブ
「AmiVoice Front HUB01」



最大16本のマイクが接続可能

UDトークの**効果**

UDトークの効果

聴覚障害者への情報保障

- 教師や他生徒の発言を即座にテキスト化し、タブレットや大型モニタ等に表示することで、聞き漏らしを防げるようになった。

学力・理解度の向上

- 音声や手話と、文字から情報を得ることで、内容の理解度が上がった。
- トーク内容をログとして保存できるため、授業後の復習や行事後の振り返り等に活用し、内容の定着率が高まった。
- 翻訳機能を活用することで、日本語を母語としない生徒(外国籍の子ども等)へのコミュニケーション支援が円滑に行えるようになった。